

授業科目 母性看護学概論	区分・教育内容		
	専門分野Ⅱ 母性看護学		
授業担当者 大塚 紀子 (専任教員)	開講時期	単位	時間数
	前期	1 単位	30 時間
授業の目的 母性に関する概念及び母性看護の対象である母親と子ども及びその家族の特徴を理解し、看護活動を展開するための基礎的知識を学ぶ。			
授業の目標 1. 母性の基盤となる概念と特徴および人間の性と生殖を理解できる。 2. 現代社会における母性をめぐる課題および思春期・更年期の特徴と健康上の問題がわかる。			
授業概要 母性看護の対象や母性とは何かを理解し、その特徴を学び、女性の一生を通じた健康の保持・増進を目指した看護の重要性を感じてほしい。また、母性にかかわる統計と政策、母性を取り巻く社会の現状および課題について学ぶ。授業に際しては、一部 TBL (チーム基盤型学習) を取り入れ進行する。			
授業計画(進め方) 1 回目 母性看護とは 2 回目 母性看護における倫理 (TBL) 3 回目 母性看護に役立つ概念と理論 4 回目 解剖・生理学から見たセクシャリティ (TBL) 5 回目 セクシャリティ 6 回目 母子保健統計から見た動向 (TBL) 7 回目 母子の健康にかかわる法律・制度の変遷 (TBL) 8 回目 母子の健康に関する制度の変遷 (TBL) 9 回目 児童虐待と母子関係の課題 10 回目 ドメスティック・バイオレンス 11 回目 遺伝と母性看護・性同一性障害 12 回目 S T D と予防行動・嗜好品 (TBL) 13 回目 家族計画と受胎調節 (TBL をベースとしたグループワーク) 14 回目 ライフサイクルからみた思春期の健康と看護 (TBL) 15 回目 ライフサイクルからみた更年期の健康と看護 (TBL)			
テキスト 新体系 看護学全書 専門Ⅱ 母性看護学概論／ウイメンズヘルスと看護 メヂカルフレンド社			
参考書・指定図書 国民衛生の動向 2018/2019 一般財団法人厚生労働統計協会 公衆衛生がみえる 2018-2019 第3版 メディックメディア			
評価の方法 筆記試験 50%, TBL 50% (チーム得点+ピア評価 30% 個人得点 20%)			